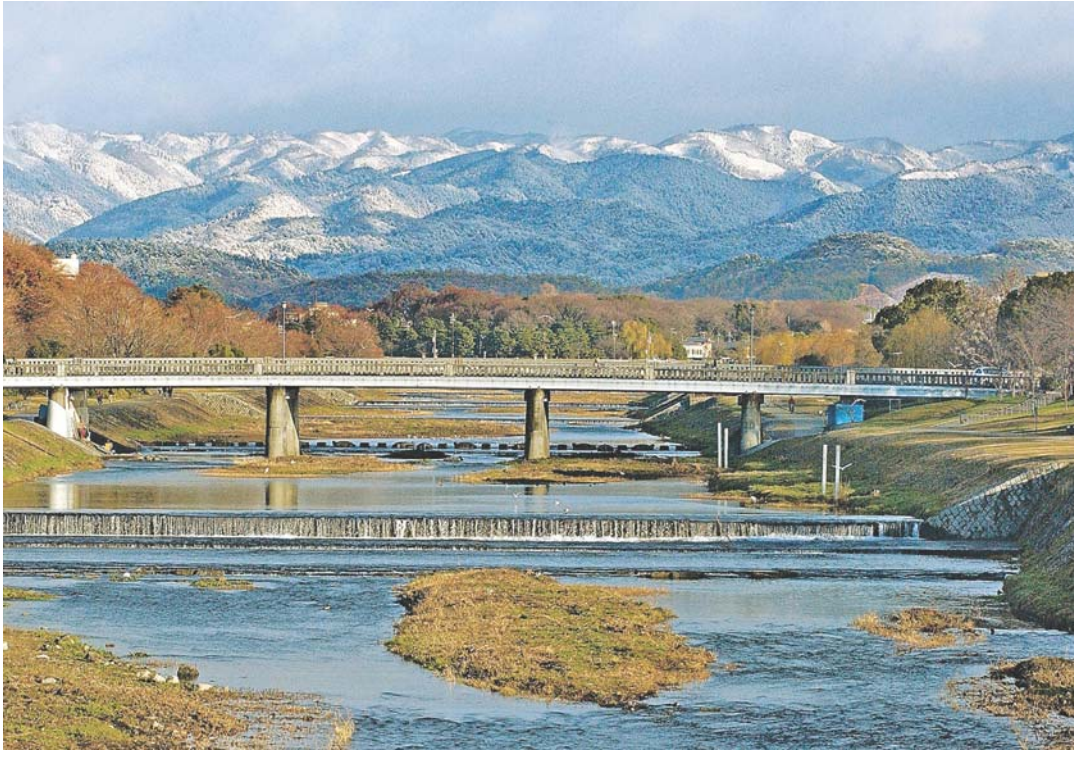


# 新しい感動を持ち恐れず挑戦を



自然と向き合うことで得られる好奇心や発想、それが独自の発想にもつながる

私は高校まで自然の豊富な富山県で育ったので、理系すなわち自然科学に対する好奇心を自然に持つことができたと思っています。そういう環境で育ったことが、独創性の発揮にも少なからず影響を与えたでしょう。先入観なしで自然を見つめることが大切だと思います。自然との対話のなかで新しい何かが生まれる気がするのです。解き明かそうとすればするほど、多くの謎が見つかります。それを突き詰めていくことで、我々の未来

明治以来  
西洋の合理主義で  
成功してきたが



も開けていくのではないのでしょうか。人は、素晴らしいアイデアを生み出したり大胆な仮説で新天地を拓いたりすることが出来ます。しかしそれらの多くは、今まで分かった知の蓄えからの発想です。科学の最前線では、今まで分からなかった自然の現象を初めて見ることで、そういうことだったのか、と感動をもつて前進できる

この方が多いのです。明治以来私たちは、西洋の合理主義、要素還元主義などを用いて、自然の摂理を解き明かそうと努力し、かなり成功してきました。それが唯一の科学することの方が多

た。明治以来私たちは、西洋の合理主義、要素還元主義などを用いて、自然の摂理を解き明かそうと努力し、かなり成功してきました。それが唯一の科学することの方が多

## 自信と独創性

島津製作所フェロー 田中 耕一さん



たなか・こういち 1959年、富山市生まれ。83年に東北大電気工学科卒。同年4月、島津製作所入社。2002年、タンパク質など生体高分子の同定と構造解析で飛躍的手法を開発しノーベル化学賞を受賞。現在は島津製作所フェロー・田中先端研究所所長。52歳。

心だ。しかし、要素ごとに分解すると逆に全体が見えづらくなる。木を見て森を見ずでは不十分です。

文化を楽しむ  
ゆとり、遊び心が  
独創に役立つ

自然はほんの一部を切り出しても複雑です。しかもお互い密接につながっています。パララにも富んでいます。この

「理科離れ」より  
「知離れ」  
「文化離れ」が問題

特に若い人の中で「理科離れ」が問題視されていますが、むしろ「知離れ」「文化離れ」が問題ではないでしょうか。周りの国々が発展しているのに日本は停滞、と思えてしまうから。今日日本に一番必要なのは、自信です。豊かな自然に囲まれ、層の厚い文化を持つ日本、その中心である京都から、これまでたくさんの独創が生まれ、今現在も芽は多く育っています。これからの日本が楽しみです。



戦後、日本人は物の豊かさ引き換えに大切なものを忘れてきたのではないだろうか。日本人が忘れつつある価値観が今も生き続ける千年の都・京都から温故知新の知恵を発信する。(毎週日曜日に掲載します)

## 日本の暦

### 一陽来復

京滋とも、すでに初雪が舞い、日ごとに寒さが募ってきました。この時期、人も自然もすべてが縮こまっていくように感じられます。しかし、旧暦では冬至を境に、季節は衰勢から盛勢に転じるとされます。陰が極まって陽が生ずる時期。短かった昼間の時間が、再び長くなる「一陽来復」の始まりです。この日の冬至は12月22日。昔から冬至には、中風封じにかぼちゃを食べゆず湯に入る習慣があります。京都ではニンジン、レンコン、ギンナンなども食べます。「運鈍根」にあやかった縁起かと思いますが、栄養を摂って風邪を防ぐ古人の知恵でもあったのでしょうか。



国際アート作家 河原林 春陽さん

## リレーメッセージ

### 宇宙舞感性

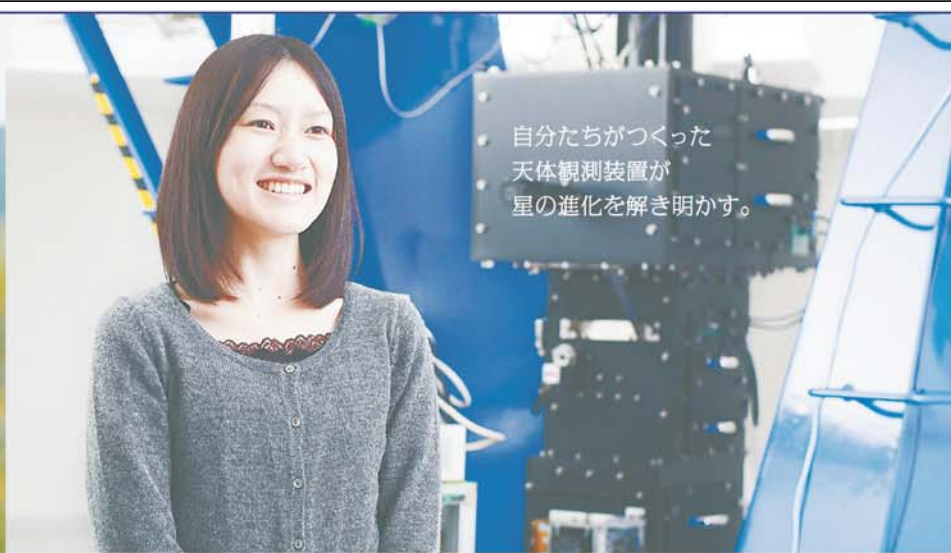
私は、国際交流を始めて20年目になります。アメリカ・シアトルの大学美術グループへの墨アートのデモンストレーションがスタートとなりました。その後訪問した世界の素晴らしい多様性を持つ人々との出会いには、私の宝物となっています。私は幸運にも、神秘性や癒しの力があると言われる「墨の香り」と共に「書」を通じて世界の多くの人達と感動を共にする事が出来ました。そして改めて、感性に国境はないとの思いを強くいたしました。今、地球はいろいろな意味で大変な時を迎えています。青く輝く星・地球の象徴である命の水に守られながら、日本の文化である「墨と書」を通じて、人として相手のことを思いやるやさしさを、忍耐や誠実さ、そして生かされている事への感謝の心を改めて考えたいと思います。古より培われた素晴らしい文化と歴史の地、京都から「墨の香り」の持つ精神性・魂サイトの創造表現を、これからも楽しみながら発信したいと願っています。

(次回12月25日のメッセージは、ポーセレン・アーティストの國生義子さんです)

(日本人の忘れもの)は、京都新聞ホームページ <http://kyonon.jp/kp/kyo-on/info/nwc/>にてご覧いただけます。



ホースセラピーを通じて心の架け橋をつなげた。



自分たちがつくった天体観測装置が星の進化を解き明かす。



フィールド・リサーチで現場を知った。自分の想いに気付いた。



挑戦したい。その想いを応援する環境がある。仲間がいる。

# 変わるチカラ。 変えるチカラ。

待っていたって何も変わらない。自分が変わらないと何も起こりはない。自ら挑戦し自ら行動することで、自分を変わっていく。社会を変える可能性へとつながっていく。無限に広がる世界へ。挑戦する大きなフィールドがここにある。

→詳しくは、明日の朝刊で。